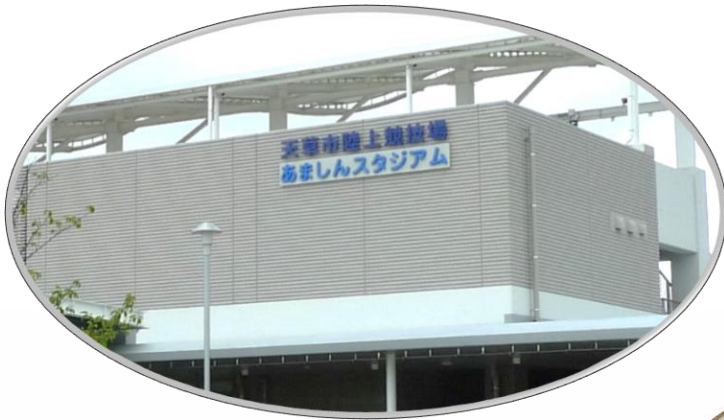


ひとめで
あましの経営内容
わかる!!

あましのディスクロージャー 令和5年度上半期開示レポート



夢・希望・未来

天草信用金庫

天草信用金庫は「天草市陸上競技場ネーミングライツ・パートナー」として、「天草市スポーツコミッション活動戦略」の新たな拠点とし、“市民の健康増進や競技力向上が図られること、スポーツ大会・合宿等の誘致により、交流・関係人口の創出が期待できること”等々、地域の文化やスポーツに積極的に関与することにより、新たな「共創の場」をもたらし、天草地域の活性化につながり、地域の更なる発展に貢献いたします。

－ ご あ い さ つ －

平素より、格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。
おかげさまで令和5年9月期の半期決算におきましても、健全経営を維持向上させるための適正な収益を確保することができました。これもひとえに会員をはじめ地域の皆様のあたたかいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、本年度も4月から9月までの経営活動の主な実績を開示したディスクロージャー【令和5年度上半期開示レポート】により、当金庫の業況や財務状況などをご報告いたします。

今後も活力あふれる共創社会を目指し、事業者・地域支援活動に役職員一同全力で取り組んでまいりますので、さらなるご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月吉日



会 長 山田 清和



理事長 田中 豊浩

《 開 示 項 目 》

令和5年9月末現在

- ◆地域社会と天草信用金庫
 - ◆預金・積金残高と貸出金残高及び預貸率の推移
 - ◆貸出金業種別内訳
 - ◆損益の状況
 - ◆有価証券の時価情報と預証率
 - ◆単体自己資本比率の状況【国内基準】
 - ◆信用金庫法に基づくリスク管理債権及び引当・保全状況
 - ◆Close UP 第2回あましんフォトコンテスト開催
- このディスクロージャー誌に掲載している数値などについては未監査であります。

※掲載している数値は、原則として単位未満を切捨て、構成比は単位未満を四捨五入しています。

《 あましんの概要 》

令和5年9月末現在

- 創 立 昭和24年4月12日
- 本店所在地 熊本県天草市太田町9番地3
- 会員数 20,951名
- 出資金 437百万円
- 店舗数 11カ店
- 店外キャッシュサービスコーナー 7カ所
- 共同設置 1カ所
- 常勤役職員数 142名

<https://www.shinkin.co.jp/amakusa/>

地域社会と天草信用金庫

日本の宝島“天草”

天草信用金庫は、地元の中小企業や住民の皆様が会員となって、お互い助け合い、お互い発展していくことを理念とする協同組織の地域金融機関です。営業区域は、天草市、上天草市、天草郡苓北町、宇城市三角町の2市2町で、天草市に本店を置きます。

昭和24年4月の創立以来、天草に唯一本店を置く地域金融機関として、積極的に金融の円滑化に取り組んでまいりました。また、地域社会を構成する一市民の立場を自覚し、徹底した地元優先の運営方針のもと、地域経済活性化や産業振興支援をはじめとして、社会・環境・文化・教育・スポーツ・郷土芸能等々様々な分野において、人が輝き活力あふれる「日本の宝島“天草”」の創造に一役買いたいと考え、日々努力しております。

地元の資金は
地元のために

ご融資金額
70,197百万円

信頼・信用の証

預金・積金残高
148,348百万円

お客様・地元
からの信頼

預金・積金の増加
天草信用金庫
地域社会の一市民として
役職員数：142名
店舗数：11店舗
会員数：20,951名
出資金：437百万円



健全性・
安全性の確保

【令和5年9月期の決算状況】

経常収益：1,596百万円
経常利益：691百万円
業務純益：282百万円
当期純利益：568百万円
自己資本比率：19.78%程度

地域とのつながり

会員をはじめお取引先の
ご支援や利便性の向上等

当金庫のパーパス

共に描き・育み・成長し、天草信用金庫は活力あふれる共創社会を目指します。

当金庫は、「共存・共栄」の経営理念のもと、地域と助け合い、お互いに成長していくことを共通の理念としている協同組織の地域金融機関です。

天草という限られた地域で事業活動を行っている運命共同体でこの地域がなければ天草信用金庫は存在できません。これからも最も身近で信用・信頼される地域金融機関を目指して未来への希望と夢を描き、先人たちの知恵・技術・情熱を貴重な財産として守り育み、さらに深化・成長し、活力あふれる「日本の宝島“天草”」をデザイン(共創)してまいります。



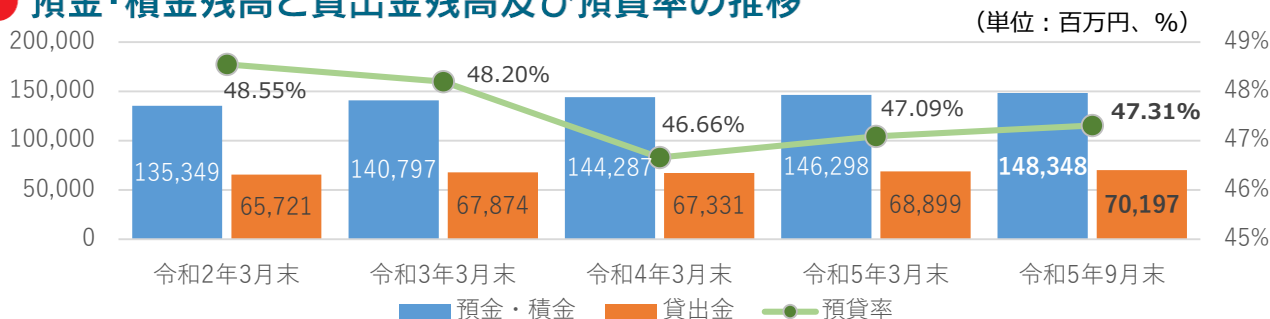
Amakusa

あましんの 信頼性 健全性 安全性 を示す バロメーターをご覧ください

信頼性の バロメーター

Reliability

● 預金・積金残高と貸出金残高及び預貸率の推移



預金・積金は、本年7月1日にオープンした「あましんスタジアム」のネーミングライツ・パートナーを記念し、広く周知する活動として、またスポーツ振興による地域貢献活動の一環として、懸賞品付定期預金に、天草管内2市1町の各スポーツ協会に対する寄附事業を盛り込みキャンペーンを実施するなど、預積金の増強に努めました。その結果、前期末比20億49百万円増加(増加率1.40%)し、9月末残高は1,483億48百万円となりました。

貸出金は、物価高騰等により経営に苦慮する地域事業所の事業・雇用の継続に必要な運転・設備資金等を積極的に対応したことや、需要が多いマイカーと教育ローンに特別優遇金利を設定しキャンペーンを実施する等、事業資金・個人向け資金ともに増加しました。また地方公共団体向け融資も応需したことにより、同資金も増加したことから、前期末比12億98百万円増加(増加率1.89%)し、9月末残高は701億97百万円となりました。



※スポーツ協会寄附金贈呈式の様子

● 貸出金業種別内訳

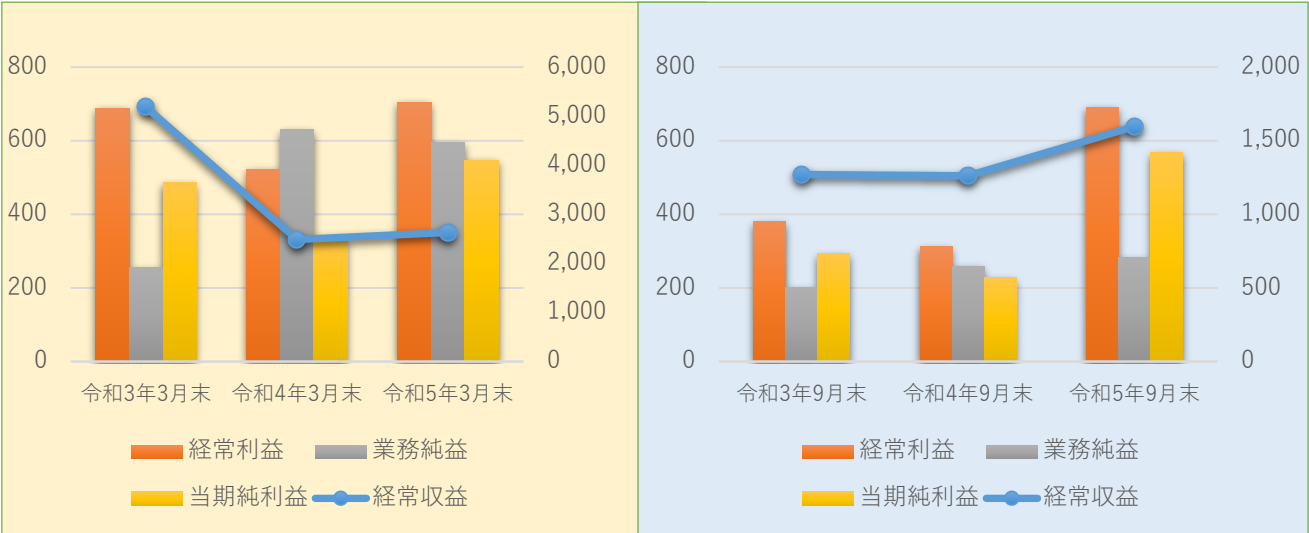
(単位：百万円、%)

業種別	令和5年3月末			令和5年9月末		
	先 数	残 高	構成比	先 数	残 高	構成比
製造業	113	1,988	2.9	115	2,353	3.4
農業、林業	27	191	0.3	25	176	0.3
漁 業	99	1,600	2.3	102	1,549	2.2
鉱業、採石業、砂利採取業	4	140	0.2	4	91	0.1
建設業	168	3,714	5.4	166	3,558	5.1
電気・ガス・熱供給・水道業	48	2,136	3.1	47	2,105	3.0
情報通信業	1	209	0.3	1	193	0.3
運輸業、郵便業	81	4,438	6.4	79	4,288	6.1
卸売業、小売業	229	3,479	5.0	222	3,452	4.9
金融業、保険業	5	12	0.0	5	21	0.0
不動産業	135	7,434	10.8	142	8,146	11.6
物品賃貸業	7	293	0.4	7	269	0.4
学術研究、専門・技術サービス業	4	16	0.0	3	14	0.0
宿泊業	39	2,798	4.0	39	2,748	3.9
飲食業	106	1,021	1.5	105	978	1.4
生活関連サービス業、娯楽業	61	757	1.1	57	719	1.0
教育、学習支援業	10	301	0.4	8	266	0.4
医療・福祉	51	1,892	2.7	49	1,793	2.6
その他のサービス	102	1,645	2.4	112	1,663	2.4
小 計	1,290	34,073	49.5	1,288	34,391	49.0
地方公共団体	8	10,636	15.4	8	11,362	16.2
個人（住宅・消費・納税資金等）	6,534	24,188	35.1	6,508	24,443	34.8
合 計	7,832	68,899	100.0	7,804	70,197	100.0

● 損益の状況

(単位：百万円)

科 目	令和3年3月末	令和4年3月末	令和5年3月末	令和3年9月末	令和4年9月末	令和5年9月末
経 常 収 益	5,185	2,487	2,634	1,270	1,263	1,596
経 常 利 益	689	523	706	381	313	691
業 務 純 益	256	631	596	200	259	282
当 期 純 利 益	486	332	547	293	228	568



収益については、貸出金平残が増加し、貸出金利回りも上昇したことから、貸出金利息収入が増加しております。また、その他効率的な調達や資金運用に努めた結果、業務純益2億82百万円、当期純利益は5億68百万円と、令和5年度も適正利益を確保しております。

● 有価証券の時価情報と預証率

(単位：百万円)

区 分	令和 5 年 3 月 末					令和 5 年 9 月 末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		
				うち評価益	うち評価損				うち評価益	うち評価損
株 式	10,240	15,706	5,465	5,578	112	9,684	17,760	8,076	8,193	117
債 券	20,243	19,743	△500	156	656	18,957	18,072	△885	70	956
国 債	7,203	7,343	139	154	15	5,784	5,806	21	70	48
地方債	8,694	8,178	△516	—	516	8,674	7,926	△748	—	748
社 債	4,345	4,221	△123	1	38	4,498	4,339	△158	0	159
その他	424	712	288	288	—	424	719	295	295	—
合 計	30,908	36,161	5,253	6,022	769	29,065	36,552	7,486	8,560	1,074

※貸借対照表計上額は、令和5年9月30日現在における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。
※「うち評価益」「うち評価損」はそれぞれ「評価差額」の内訳であります。

◆ 預証率

(単位：百万円、%)

項 目	令和5年3月末	令和5年9月末
有 価 証 券 （ 期 末 残 高 ） （ A ）	36,175	36,565
預 金 ・ 積 金 （ 期 末 残 高 ） （ B ）	146,298	148,348
預 証 率	(A/B)	24.72
	期中平均	21.19



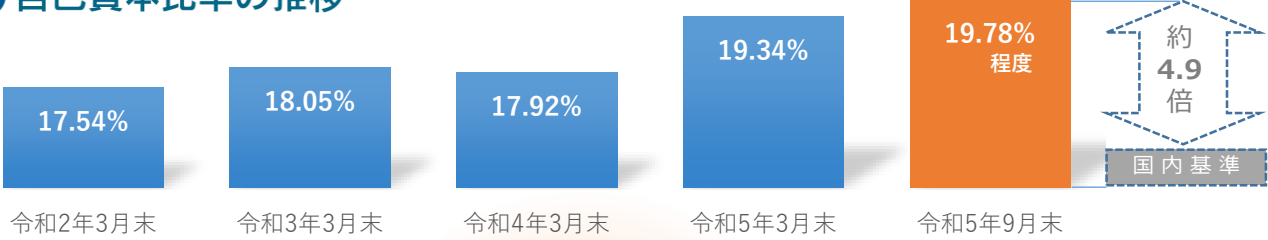
自己資本比率 = 19.78% 程度

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す基本的な指標で、信用金庫の場合は4.0%（国内基準）以上であることが求められております。

当金庫の令和5年9月末の自己資本比率は19.78%程度で国内基準の4.9倍にあたり、健全性・安全性とも高い水準にあると認識しております。

当金庫の自己資本比率が高い水準を維持しているのは、早くから、每期適正利益を確保し、自己資本を高めていかなければならないとの認識のもと、地道に自己資本の積上げと経営の健全性・安全性・透明性の向上に取り組んできた結果によるものです。

● 自己資本比率の推移



● 自己資本の充実度に関する事項

(単位：千円)

項 目	令和5年3月末		令和5年9月末	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	12,363,910	/	12,929,201	/
うち、出資金及び資本剰余金の額	439,959	/	437,134	/
うち、利益剰余金の額	11,931,415	/	12,492,067	/
うち、外部流出予定額 (△)	7,464	/	-	/
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	263,876	/	197,946	/
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	263,876	/	197,946	/
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	12,627,786	/	13,127,148	/
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	14,697		14,405	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	14,697		14,405	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	14,697		14,405	
自己資本				
自己資本の額 [(イ)-(ロ)] (ハ)	12,613,089	/	13,112,743	/
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	61,662,678	/	66,260,786	/
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	/	-	/
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	/	-	/
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,537,395	/	3,537,395	/
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	65,200,074	/	66,260,786	/
自己資本比率				
自己資本比率 [(ハ)/(ニ)]	19.34%	/	19.78% 程度	/

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。



不良債権の処理については、当金庫の経営の健全性に多大な影響を及ぼす重要な課題であるとの認識のもと、発生防止と早期解消による資産健全化に努めております。

令和5年9月末の信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権は6,023百万円となり、総与信残高に占める割合は8.57%となりました。

● 信用金庫法に基づくリスク管理債権及び引当・保全状況

(単位：百万円、%)

区 分		開示残高 (a)	保 全 額			保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
			保全合計 (b)	担保・保証等 による回収見 込額 (c)	貸倒引当金 (d)		
破産更生債権及び これらに準ずる債権	令和5年3月末	2,283	2,283	946	1,336	100.00	100.00
	令和5年9月末	2,167	2,167	861	1,306	100.00	100.00
危 険 債 権	令和5年3月末	3,855	3,558	2,273	1,284	92.29	81.20
	令和5年9月末	3,806	3,492	2,265	1,227	91.75	79.63
要 管 理 債 権	令和5年3月末	62	24	24	0	38.89	1.21
	令和5年9月末	48	18	18	0	38.19	0.66
	三月以上 延滞債権	令和5年3月末	12	5	0	47.58	1.41
		令和5年9月末	0	0	0	100.00	0.00
	貸出条件 緩和債権	令和5年3月末	50	18	0	36.70	1.17
		令和5年9月末	48	18	0	37.76	0.66
小 計 (A)	令和5年3月末	6,202	5,865	3,244	2,621	94.58	88.64
	令和5年9月末	6,023	5,678	3,144	2,534	94.29	88.05
正 常 債 権 (B)	令和5年3月末	62,807	/	/	/	/	/
	令和5年9月末	64,293	/	/	/	/	/
総 与 信 残 高 (A) + (B)	令和5年3月末	69,009	/	/	/	/	/
	令和5年9月末	70,316	/	/	/	/	/

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸貸借契約によるものに限る。)です。

作品
募集

天草信用金庫

第2回

あまし

人
フ
オ
ト
コ
ン
テ
ス
ト



テーマ

「写真」でつながる天草

教えてあげたい天草のよかところ



募集期間

11/1 2023 wed — 1/31 2024 wed

※掲載の写真はすべて「令和4年度第1回あましんフォトコンテスト」の入賞作品です。

コンセプト

地域と共に成長していくという当金庫のパーパスに基づき、地元の皆様と共に「活力あふれる天草」を天草の魅力として発信していくため、フォトコンテストを開催します。フォトコンテストに参加いただき、自分が住む地域を「見て」、「知る」機会を提供し、改めて“天草の良さ”を感じていただきます。

(詳しくはこちら)

